



本体の右上、左下にすき間が出来た場合は本体天板を右から左にねじります。



本体の左上、右下にすき間が出来た場合は本体天板を左から右にねじります。

図③



図④



左右、8本のビスを少し緩め、すき間の矯正が終了したら、再度、締め直してください。

高さのある収納庫は天板の上からねじることが難しいので、天板の右奥と左手前(図①▲印)を掴んで左側にねじってください。ねじる方向に本体がずれないように、側板の左下部に足をあてがい横ズレしないようにすると矯正効果があります。右方向へねじる場合は図①と逆の図②のようにねじってください。足は側板右の下部にあてがいます。